

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等ディサービス キッズすまいる		
○保護者評価実施期間	令和8年1月23日		～ 令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名 (うち兄弟2名が1組)	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和8年1月23日		～ 令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外部評価や研修を積極的に活用し、子どもたちへの支援の質を高め続ける体制を整えています。今後もより安心して利用いただけるよう、専門性の向上に努めていきます。	連絡帳や送迎時の申し送り、写真付きの広報誌等、日々の様子が伝わるよう丁寧な情報共有を心がけています。	地域の子どもたちとの交流の機会を増やし、より多様な関わりや経験が得られるよう、地域とのつながりを広げていきます。
2	学校・相談支援等、地域の機関と連携し、日々の生活から卒業後の進路まで見据えた切れ目のない支援を行っています。これからも関係機関との協力を深め、より良い支援につなげていきます。	活動内容を定期的に見直し、季節のイベントや外出など、子どもたちが興味を広げられる体験を取り入れています。日々の変化に合わせた柔軟な活動づくりを心がけています。	支援内容や安全対策について、より分かりやすく伝わるよう資料や説明方法を見直し、保護者の方が安心できる情報提供を強化していきます。
3	季節行事や外出活動など、子どもたちが楽しみながら成長できる機会を幅広く用意しています。これからも新しい経験に触れられるよう、活動内容をさらに充実させていきます。	子ども自身が選べる活動を用意し、自己決定の力を育てられるよう、個別と集団のバランスを意識した支援を行っています。	子どもたちの声を丁寧に拾い、活動の幅を広げることで、一人ひとりが自分らしく参加できる環境づくりを進めていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	トイレや個室の数、玄関の段差など、建物の構造上の制約があり、環境面での改善が必要な部分があります。	建物の構造上、すぐに改善できない部分があり、環境調整だけでは対応しきれない状況が生じていました。	設備面の課題については、段差の解消やスペースの工夫など、できることから改善を進め、より安全で使いやすい環境づくりを行っています。
2	職員配置は基準を満たしているものの、男女比の偏りがあり、より安心して過ごせる体制づくりに向けた調整が課題となっています。	職員の男女比の偏りは、採用状況や人材確保の難しさが背景にあり、体制のバランス調整が進みにくい状況がありました。	職員構成のバランスを整えるため、働きやすい環境づくりを進め、多様なスタッフが活躍できる体制を整えていきます。
3	行事や支援内容の案内が文書中心となり、送迎時の補足が十分でなかったため、保護者の方に情報が伝わりにくい場面がありました。	文書での案内に偏っていたことで、日々のやり取りの中で保護者の方と細かな情報を共有する機会が不足し、結果として理解につながりにくい状況が生まれていました。	行事や支援内容の案内を、文書だけでなく送迎時の声かけなども併用し、保護者の方により伝わりやすい情報提供を行います。